

安全データシート

参照番号：NBRPF 03
発行日：2016年8月18日

1. 製品及び会社情報

製品名	ニトリルゴム手袋 中厚 粉なし
会社名	株式会社 MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX 番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M20201124

1.1 製品の特長：

左右兼用
ビーズ付きカフス
魚のウロコ形状の表面
非殺菌
6 MIL (0.15mm)
色 (オレンジ、黒、濃い灰色、濃い青色)

1.2 大外箱とディスペンサーボックス上に製品識別の説明

ロット番号は大外箱とディスペンサーボックスに表示
手袋のサイズは手袋の手のひら幅で識別 (特小、小、中、大、特大)

2. 用途の特性

使用するのに特別なスキルや訓練の必要はない。
一方の手で手袋のビーズを持ち、他方の手を親指から親指方向に手袋に滑り込ませる。
医療従事者の使用に推奨される。
生物学的障壁保護具として両手に着用する。
クリーンルームまたは無菌室での使用は不可。
本手袋は患者と表面接触ができるが、口と肛門を除き侵襲性はない。
接触時間は短時間で、一般的に1時間以内である。
一回限りの使用を推奨する。
本手袋は非殺菌手袋として供給され、使用者が殺菌するものではない。

3. 主要な化学成分

a. 浸漬剤

ニトリルブタジエンゴム NANTEX 630	100
硫黄	2.0
酸化亜鉛 (活性)	2.0
BZ または EZ	1.0
二酸化チタン	1.9
ブルタモール	0.25
固形分 (%)	40
水酸化アンモニウム	3.5

b. 凝固剤溶液

硝酸カルシウム	20
水	80
固形分 (%)	20

c. 塩素化

4. 製品の物理的特性

	経年変化前	経年変化後
張力(最低 Mpa)	14 Mpa	14 Mpa
伸長 (最低 %)	500%	400%

5. 製品の適合性

*EN455-1、EN455-2、ASTM D3578-00 及び ASTM D6319-99 に適合している

*ISO 9001 + EN ISO 13485 認証済み

6. 潜在的リスク

本手袋は、合成カルボキシル化ブタジエンアクリロニトリル共重合体ラテックスに、少量の硫黄、加硫促進剤、酸化亜鉛、安定剤水酸化カリウム、着色顔料、白色顔料二酸化チタンを加え、手袋内側に分散剤を接着して作製されている。これらの化学物質は、手袋の物理的特性を強化するのに必要である。一般的に、この促進剤と他の化学物質の使用は、使用された割合で安全な材料と見なされている。不正確に配合された手袋の化合物は、手袋の強度のみに影響し、生物学的障壁としての特性には影響しない。

類似の手袋がラビットを対象に皮膚刺激性テストで試験されたが、刺激は見られなかった。初めての使用者が不快感を起こす場合、使用を中止し、医師に相談すること。

経験では、直射日光や紫外線に 72 時間以上連続して曝した場合、手袋の物理的特性が劣化することを示している。この経験では、手袋の物理的特性は周囲湿度にはあまり反応しないことを示している。手袋を直射日光や紫外線及び 40℃より高い周辺温度から遠ざけること。

高濃度硝酸に接触すると発火する。

通常、本手袋の貯蔵寿命は 3 年余である。

通常、本手袋はガラス製品の保持及び 80℃より高い温度に耐えるが、可燃物には耐えない。

通常、手袋は合成化合物なので炭化水素溶剤に対する優れた耐性がある。しかし個々の炭化水素溶剤の浸透時間は使用前に試験する必要がある。

劣化した手袋は危険有害な物質を発生しない。

手袋の主成分は生物分解性のない合成ポリマーであり、使用済み手袋は地域の規則に従って処分する必要がある。

焼却炉などで焼却処分する場合、850℃より高い温度で焼却しなければならない。

7. 潜在的危険有害性のリスト

- 7.1 日光への長期暴露 (連続 72 時間) 及び蛍光灯からの紫外線への長期暴露 (連続 30 日以上) は、手袋を劣化させ、生物学的障壁として機能しなくなる。
- 7.2 手袋の再使用は、患者から患者へ病原菌を移すことがある。
- 7.3 68%の硝酸に直接接触すると、手袋は発火する。

8. 項目 7 に特定する各危険有害性のリスクの推定

- 8.1 輸送中及び保管中には包装材料が手袋を保護するので、日光や紫外線への長期暴露による手袋の劣化のリスクは低い。いったん手袋のパッケージ(箱)を開けると、早めに使い切り、建物内の日光の当たらない所に置いておくこと。
- 8.2 医療従事者は衛生講習を受けた上で使用するので、手袋の再使用のリスクは低い。包装材料(ディスペンサーボックス)には、「使い捨て」または「単回使用」の文言のラベルを貼っている。
- 8.3 手袋が 68%硝酸に接触するリスクは低い。硝酸は危険な酸なので、普通、この酸を扱う者はその特性を理解しており、接触前に酸の割合を下げるべきと理解しているからである。

9. リスクの許容

- 9.1 項目 7.1 に記載する危険有害性のリスクは許容範囲内である。
- 9.2 項目 7.2 に記載する危険有害性のリスクは許容範囲内である。
- 9.3 項目 7.3 に記載する危険有害性のリスクは許容範囲内である。

10. リスクの低減

手袋の販売業者に対して内箱に項目 7.3 を明示するよう提案している。

11. リスク低減に関する他の危険有害性の発生

なし

12. 特定したすべての危険有害性の評価

項目 7 に特定した危険有害性は既に評価されている。

13. 器具の安全の妥当性

(項目 7) に特定した危険有害性に関するリスクは、パウダーフリーニトリル検査用手袋の意図される適用と使用に対して許容範囲内である。

本情報は誠意を以て提供されていますが、正確さや充分さまたは得られた結果を保証するものではありません。リスクは使用者の責任です。引用している用途は説明目的のためだけです。使用者は各事例でその用途の適切さを調査し、確立してください。本書のどの内容も、有効な特許を侵害する用途の推薦または有効な特許の下に許諾を与えるものと解釈されないものとします。